

令和 7 年度 市川市自殺対策関係機関連絡会

次 第

日時：令和 7 年 1 0 月 3 1 日（金）

午後 2 時 0 0 分から午後 3 時 3 0 分

場所：市川市保健センター 4 階大会議室

1 開会

2 挨拶

3 議題

（1）自殺者実態報告

（2）自殺対策事業実績報告

（3）自殺対策計画（第 3 次）の中間評価（令和 8 年度実施予定）について

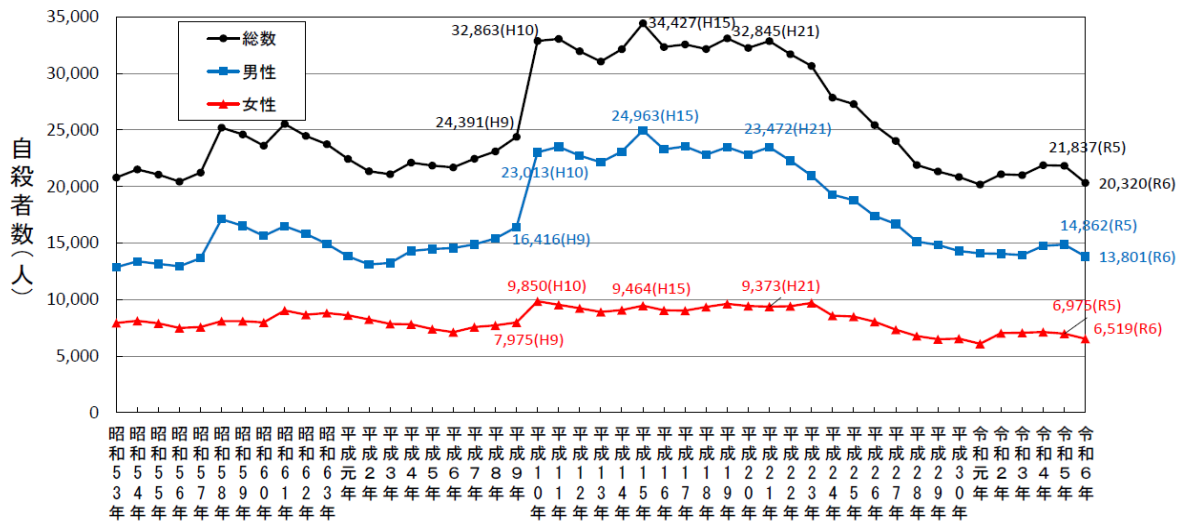
（4）意見交換、その他

4 閉会

1-1 自殺者数の推移(全国)

令和6年の自殺者数は、20,320人で、前年と比べ1,517人(14%)減少した。

男女別にみると、男性は3年ぶりに減少し、女性は2年連続で減少。男性の自殺者数は、女性の約2.1倍となっている。

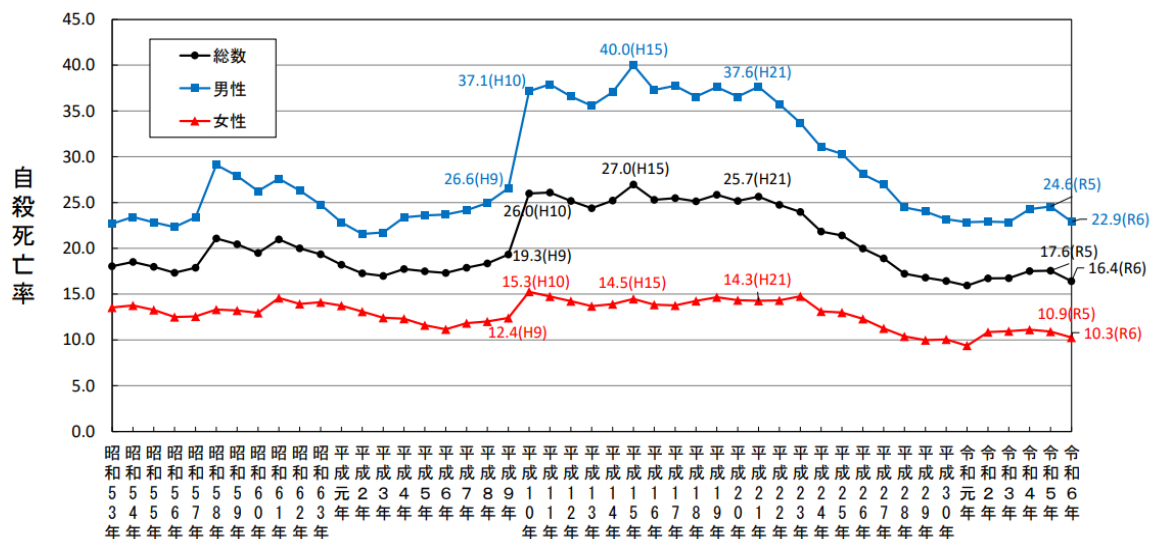


【出典】警察庁自殺統計原票より厚生労働省作成

1-2 自殺死亡率の推移(全国)

令和6年の自殺死亡率の総数は16.4となり、前年と比べ低下した。

男女別にみると、男性は22.9(前年より低下)、女性は10.3(前年より低下)となった。

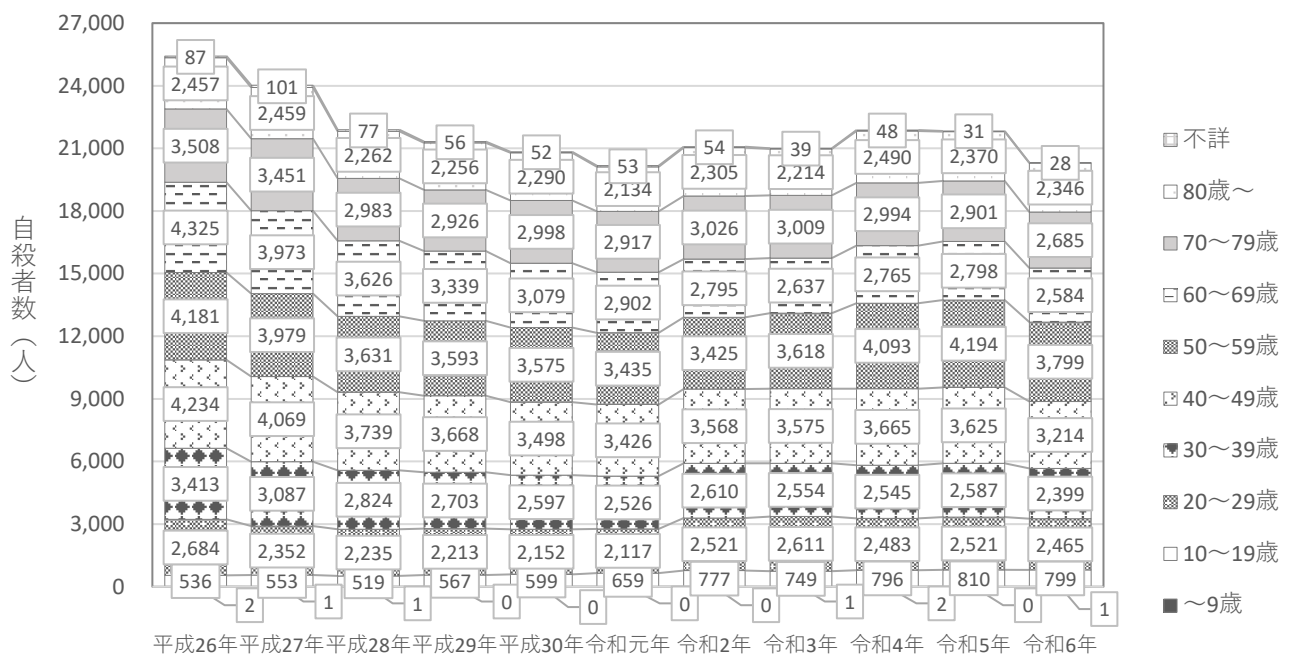


注)「自殺死亡率」とは、人口10万人当たりの自殺者数を表します。

【出典】警察庁自殺統計原票データ、総務省「人口推計」より厚生労働省作成

1-3 年齢階級別自殺者数の推移(全国)

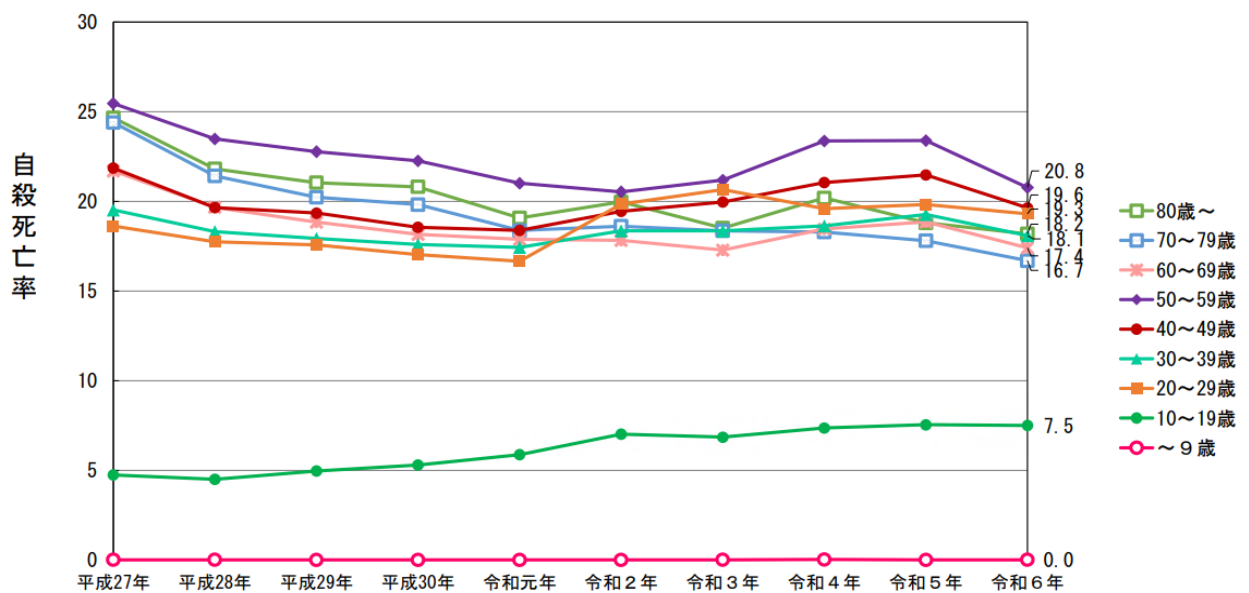
令和6年は前年と比べ、9歳以下を除く全ての世代で減少した。9歳以下の世代では3年ぶりに増加した。



【出典】警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成グラフ改変

1-4 年齢階級別自殺死亡率の年次推移(全国)

令和6年は前年と比べ、多くの年齢階級で低下したが、10代では横ばいとなった。最も低下した年齢階級は50歳代で、昨年と比べ2.6ポイント低下した。



注)「自殺死亡率」とは、人口10万人当たりの自殺者数を表します。

【出典】警察庁自殺統計原票データ、総務省「人口推計」より厚生労働省作成

1-5 死因順位別にみた年齢階級・死亡数・死亡率(全国・令和6年)

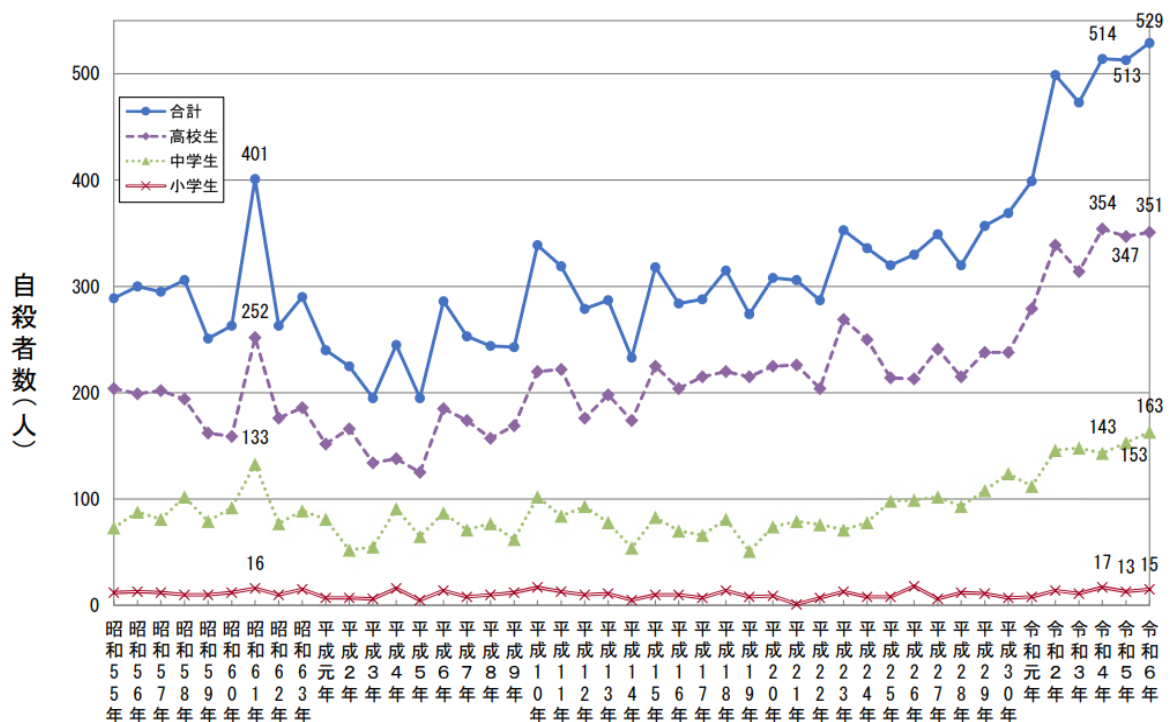
10歳代、20歳代、30歳代の死因原因の第1位が自殺となっている。

	第1位			第2位			第3位		
	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率	死因	死亡数	死亡率
10～14歳	自殺	132	2.6	悪性新生物	95	1.9	不慮の事故	51	1.0
15～19歳	自殺	627	11.8	不慮の事故	166	3.1	悪性新生物	120	2.3
20～24歳	自殺	1219	21.4	不慮の事故	241	4.2	悪性新生物	158	2.8
25～29歳	自殺	1124	19	不慮の事故	247	4.2	悪性新生物	223	3.8
30～34歳	自殺	1120	18.9	悪性新生物	428	7.2	心疾患	211	3.6
35～39歳	自殺	1209	18.5	悪性新生物	902	13.8	心疾患	371	5.7
40～44歳	悪性新生物	1768	24	自殺	1408	19.1	心疾患	682	9.3
45～49歳	悪性新生物	3913	45.8	自殺	1720	20.1	心疾患	1423	16.7
50～54歳	悪性新生物	7699	80.1	心疾患	2811	29.3	自殺	1981	20.6
55～59歳	悪性新生物	11330	135.9	心疾患	3967	47.6	脳血管疾患	2204	26.4
60～64歳	悪性新生物	17061	228.7	心疾患	5427	72.8	脳血管疾患	2744	36.8
65～69歳	悪性新生物	27568	383.3	心疾患	8025	111.6	脳血管疾患	4092	56.9
70～74歳	悪性新生物	50541	620.6	心疾患	15126	185.7	脳血管疾患	8067	99.1
75～79歳	悪性新生物	67334	858.2	心疾患	23020	293.4	脳血管疾患	11986	161.2
80～84歳	悪性新生物	73564	1203.6	心疾患	35044	573.4	老衰	18273	299
85～89歳	悪性新生物	64695	1646.1	心疾患	47250	1202.4	老衰	41007	1043.4
90～94歳	老衰	66648	3199.6	心疾患	49362	2369.8	悪性新生物	41488	1991.7
95～99歳	老衰	53517	8454.5	心疾患	27353	4321.2	悪性新生物	13343	2107.9
100歳以上	老衰	19719	22665.5	心疾患	5848	6721.8	肺炎	1910	2195.4

【出典】人口動態統計より作成

1-6 学生・生徒等の自殺者数の年次推移(全国)

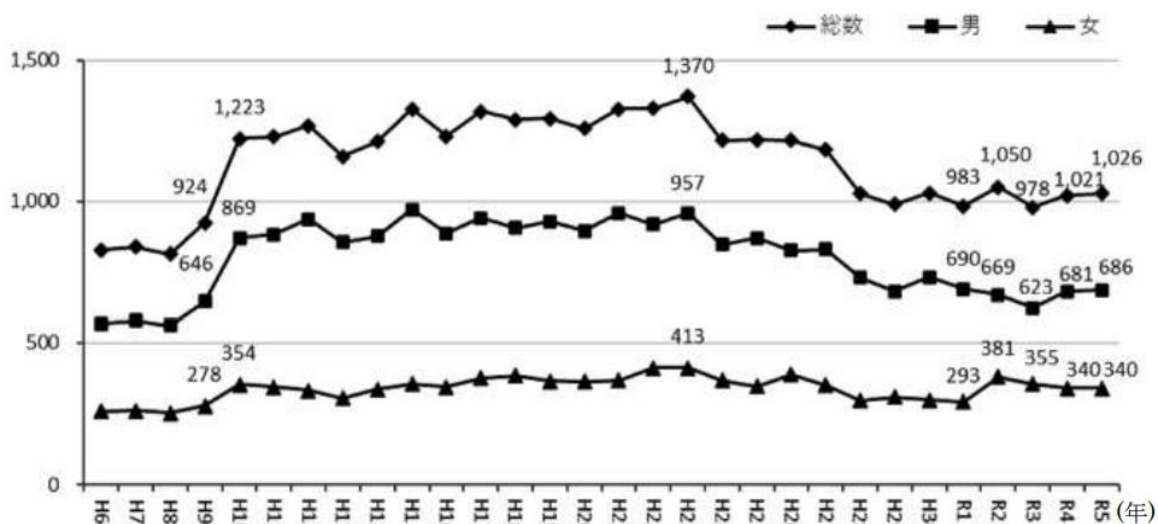
令和6年の小中高生の自殺者数は529人で、前年と比べ16人増加となり、昭和55年からの統計以降過去最高となった。小学生の自殺者数は前年に比べ2人、中学生は10人、高校生は4人増加した。



【出典】警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

2-1 自殺者数の推移(千葉県)

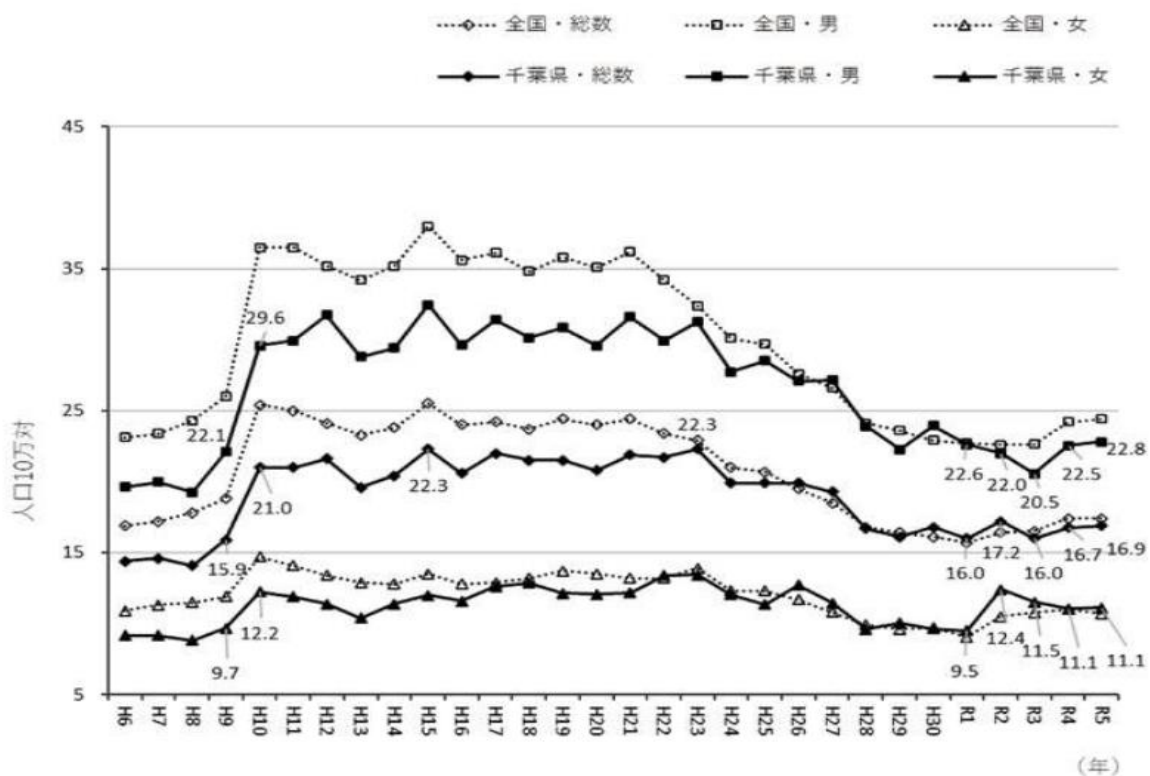
平成30年から令和4年までの5年間では、1,000人前後で推移している。令和5年は横ばい。男女別にみると男性は増加、女性は横ばいとなった。



【出典】千葉県衛生統計年報

2-2 自殺死亡率の推移(千葉県)

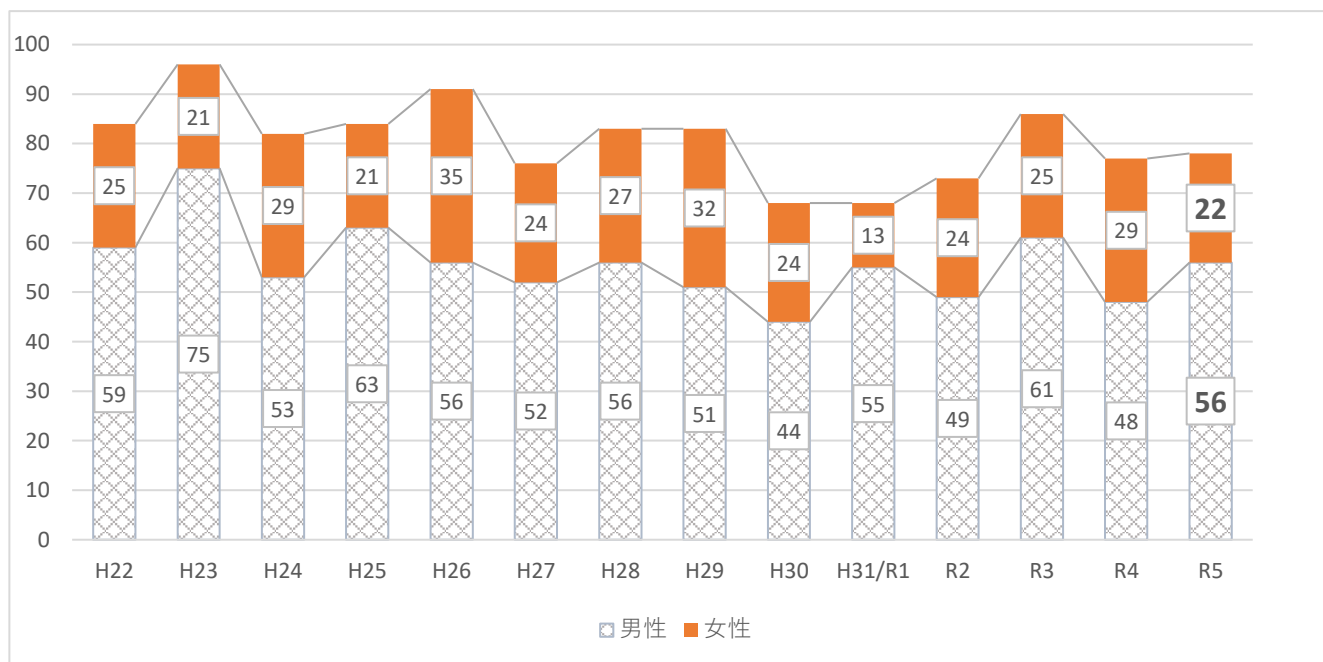
令和5年の自殺死亡率は16.9となり、2年連続上昇。



【出典】千葉県衛生統計年報

3-1 自殺者数の推移(市川市)

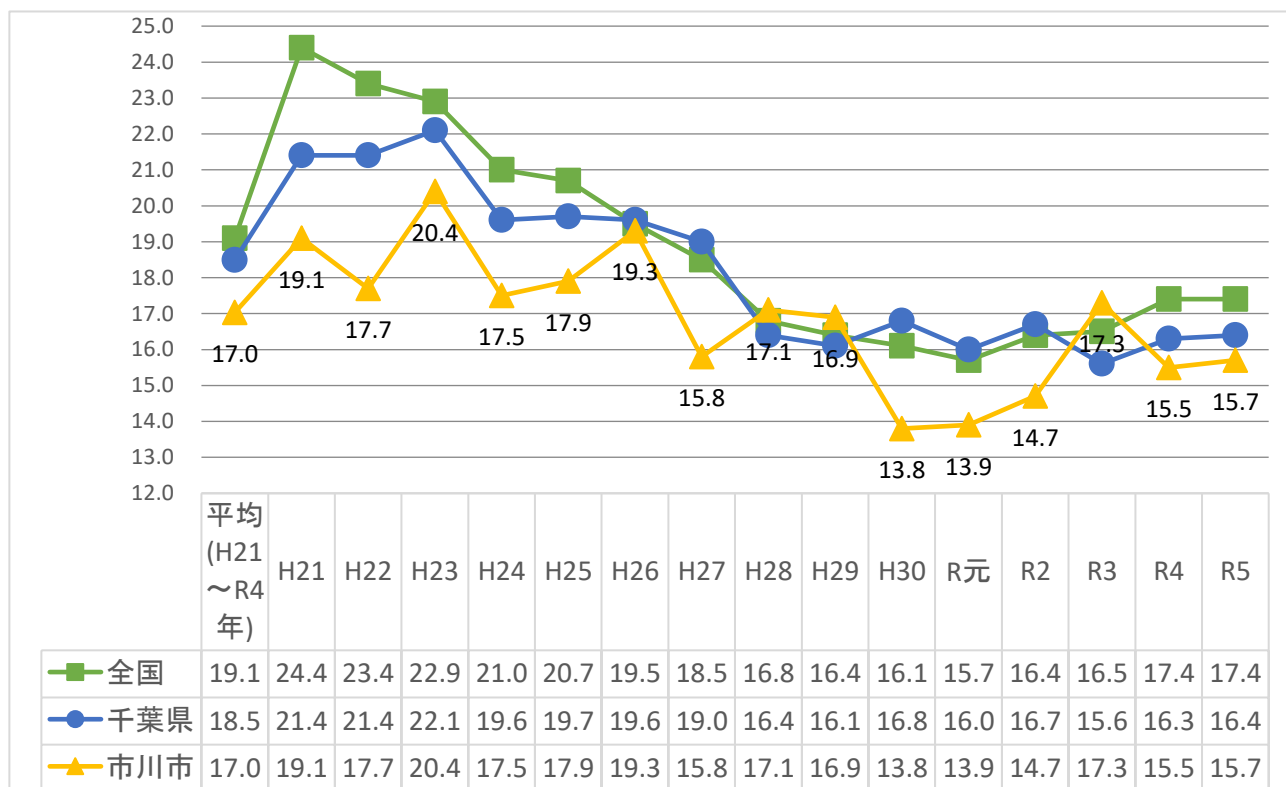
令和5年の自殺者数は78人。令和4年より1人増加となった。



【出典】千葉県衛生統計年報より作成

3-2 自殺死亡率の推移(市川市)

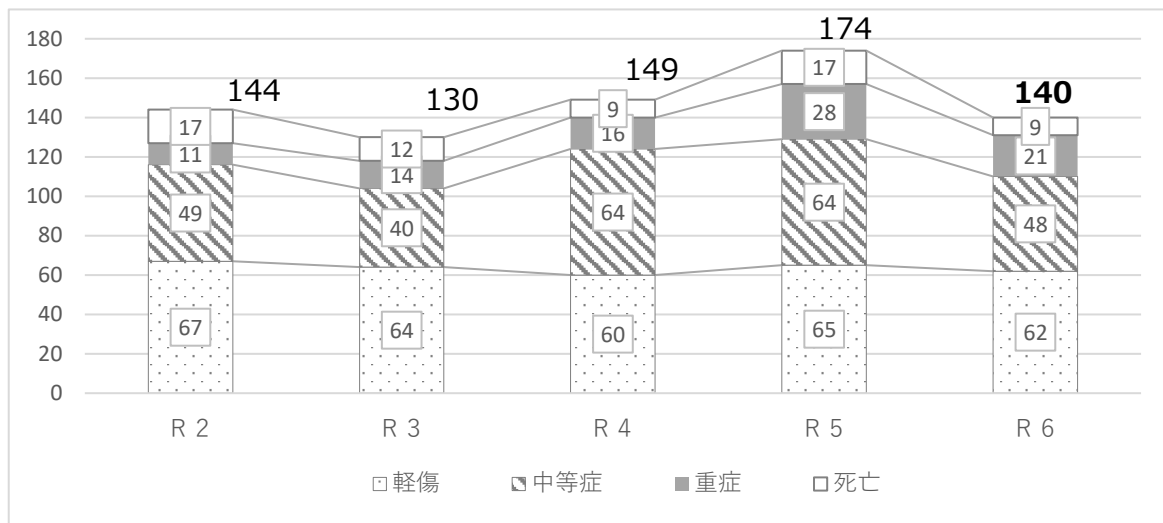
令和5年は前年と比べ0.2ポイント増加している。



【出典】人口動態統計及び千葉県衛生統計年報より作成

4-1 自損行為による救急搬送人員状況(市川市)

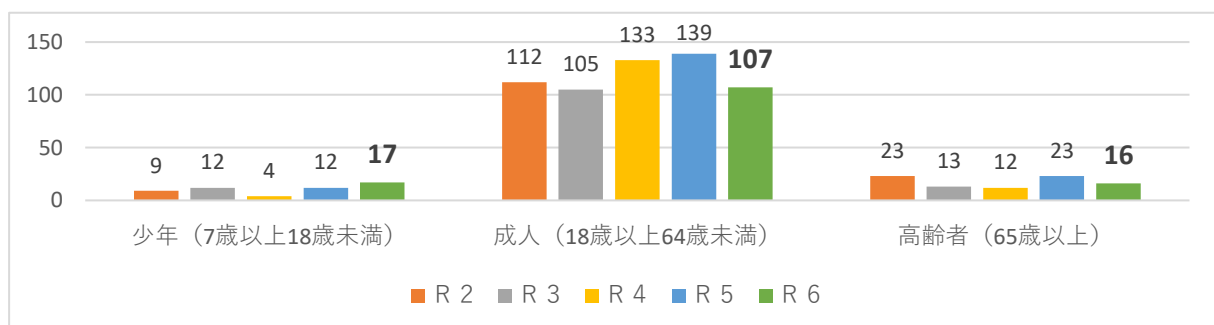
救急搬送数は3年ぶりに減少し、令和6年は140人であった。



【出典】市川市消防局「消防年報」を基に作成

4-2 自損行為による年齢別搬送者数(市川市)

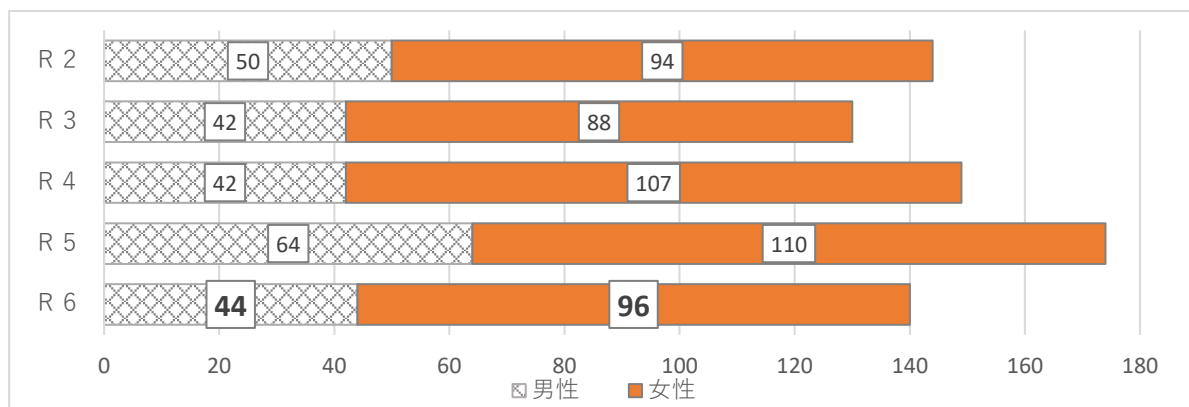
令和6年は7歳以上18歳未満の少年世代のみ増加し、成人、高齢者世代は減少した。



【出典】市川市消防局「消防年報」を基に作成

4-3 搬送者の男女別数(市川市)

救急搬送数は、女性が男性と比べ2倍以上多くなっている。



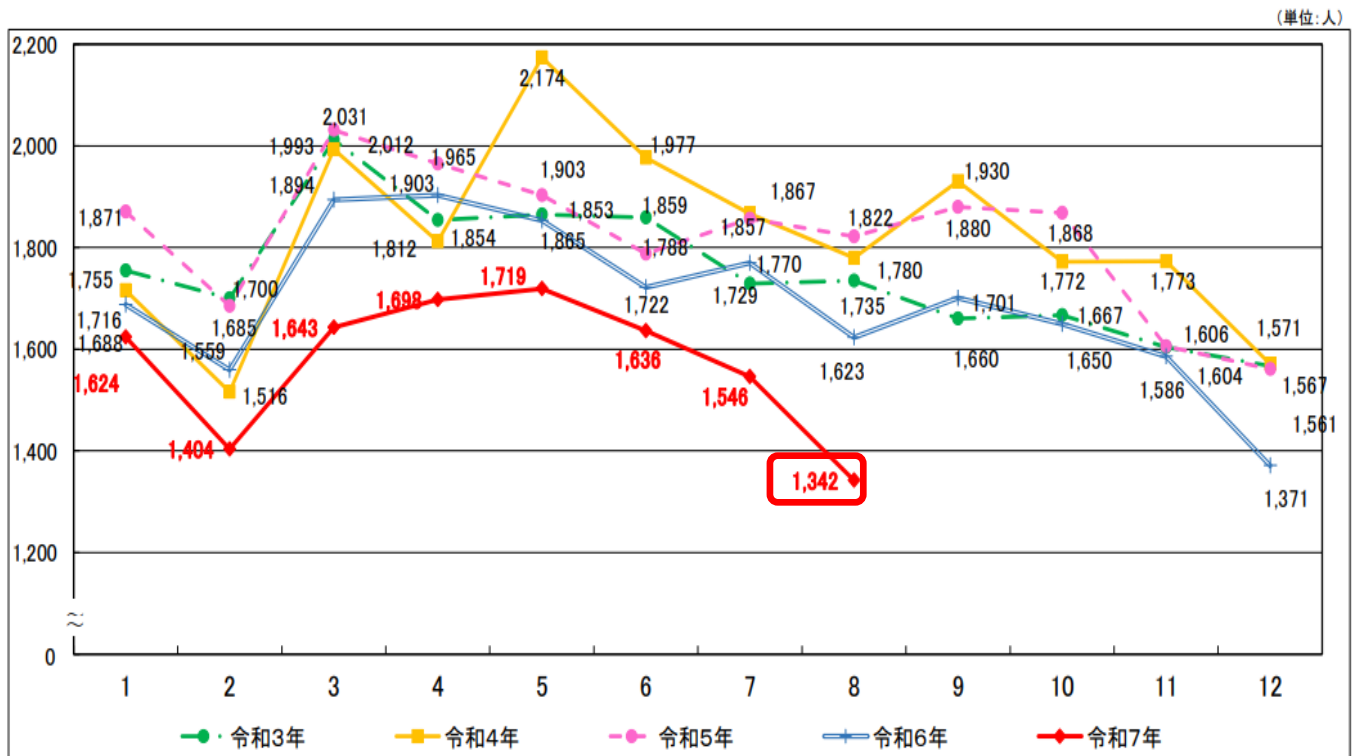
【出典】市川市消防局「消防年報」を基に作成

5-1 全国月別自殺者数の推移(総数)

令和7年8月の自殺者数は、暫定値で1,342人であり、対前年同月比281人減。

令和7年1月～8月累計自殺者数は暫定値で12,612人。対前年同月比1,400人減。

(令和7年8月暫定値)



【出典】厚生労働省自殺対策推進室作成資料より

5-2 対前年同月自殺者増減数及び増減率上位5県(総数)

令和7年8月対前年自殺者増減数及び増減率。

(令和7年8月暫定値)

対前年同月自殺者増減数上位5県

		令和6年	令和7年	対前年比	
				増減数	増減率
増加	福岡	59	77	18	30.5
	滋賀	16	29	13	81.3
	千葉	75	83	8	10.7
	佐賀	5	12	7	140.0
	鹿児島	17	24	7	41.2
減少	神奈川	114	69	-45	-39.5
	東京	199	155	-44	-22.1
	北海道	98	70	-28	-28.6
	埼玉	105	77	-28	-26.7
	兵庫	62	38	-24	-38.7

対前年同月自殺者増減率上位5県

		令和6年	令和7年	対前年比	
				増減数	増減率
上昇	佐賀	5	12	7	140.0
	滋賀	16	29	13	81.3
	富山	9	15	6	66.7
	鹿児島	17	24	7	41.2
	福岡	59	77	18	30.5
低下	山形	12	2	-10	-83.3
	長崎	17	3	-14	-82.4
	香川	13	5	-8	-61.5
	宮崎	25	11	-14	-56.0
	石川	9	4	-5	-55.6

【出典】厚生労働省自殺対策推進室作成資料より

5-3 原因・動機、年齢別自殺者数(総数)

全ての世代で健康問題が動機として1位となっている。

(令和7年8月暫定値)

年齢階級	自殺者 総数	原因・動機特定者の原因・動機								不詳
		総数	家庭問題	健康問題	経済・ 生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他	
総数	1287	1107	286	747	315	195	76	24	96	180
20歳未満	65	46	13	19	0	1	13	17	7	19
20-29	165	142	21	69	47	52	33	6	13	23
30-39	144	127	35	63	51	35	13	0	15	17
40-49	211	180	50	97	66	48	8	0	17	31
50-59	223	199	50	127	79	43	5	1	11	24
60-69	154	135	35	99	46	14	3	0	10	19
70-79	161	141	41	137	18	0	1	0	12	20
80歳以上	155	137	41	136	8	2	0	0	11	18
不詳	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9

【出典】厚生労働省自殺対策推進室作成資料より

(備考)「原因・動機特定者」とは、少なくとも1つの原因・動機が特定されている自殺者をいう。

原因・動機を4つまで計上可能としているため、総数と原因・動機別自殺者数の和は一致しない。

5-4 職業、原因・動機別自殺者数(総数)

有職者はいずれの職業においても、健康問題が動機として上位になっている。

(令和7年8月暫定値)

職業		自殺者 総数	原因・動機特定者の原因・動機								不詳	
			総数	家庭問題	健康問題	経済・ 生活問題	勤務問題	交際問題	学校問題	その他		
総数		1287	1107	286	747	315	195	76	24	96	180	
有職	総数	509	474	141	191	186	181	42	3	36	35	
	管理的職業従事者	103	99	20	38	72	27	4	1	8	4	
	専門的・技術的職業従事者	54	50	9	27	12	41	3	0	1	4	
	事務従事者	32	28	10	15	6	14	1	0	2	4	
	販売従事者	45	41	18	19	13	11	6	0	0	4	
	サービス職業従事者	62	60	13	24	15	17	9	1	8	2	
	保安職業従事者	20	17	6	6	3	8	4	1	3	3	
	農林漁業従事者	6	6	5	1	1	4	0	0	0	0	
	生産工程従事者	56	51	23	24	12	23	2	0	3	5	
	輸送・機械運転従事者	14	13	4	6	5	2	2	0	1	1	
	建設・採掘従事者	49	46	13	9	24	10	4	0	5	3	
	通信・運搬・清掃・包装等従事者	34	31	9	9	13	12	2	0	3	3	
	その他	34	32	11	13	10	12	5	0	2	2	
無職	総数		681	622	144	551	120	14	32	21	58	59
	学生・生徒等	総数	61	50	12	18	9	1	8	20	9	11
		未就学児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		中学生	14	9	5	1	0	0	4	2	5	
		高校生	21	18	5	8	0	0	2	11	4	3
		大学生	19	16	1	5	6	0	5	2	1	3
		専修学校生等	7	7	1	4	3	1	1	3	2	0
	無職者	総数	620	572	132	533	111	13	24	1	49	48
		主婦・主夫	53	50	12	48	2	1	0	0	2	3
		失業者	52	50	13	30	28	6	7	0	5	2
		母子・父子・家族等生活者	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0
		年金・雇用保険等生活者	331	305	74	316	38	1	4	0	27	26
		ホームレス	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
		その他の無職者	181	164	32	137	42	5	13	1	15	17
	不詳		97	11	1	5	9	0	2	0	2	86

【出典】厚生労働省自殺対策推進室作成資料より

5-5 厚生労働省からのメッセージ

あなたの声を聞かせてください

何となく不安を感じたり、心がもやもやしたりしていませんか。心の不調が身体の不調につながっていませんか。

悩みをお持ちの方、困っている方は、どうか一人で抱えこまないでください。ご家族やご友人など、身近な人に話してみることで、気持ちが少し楽になることもあると思います。身近な人に相談しづらい時には、匿名で相談できる電話やSNSでの相談窓口もあります。

また、身近な人の様子がいつもと違うと感じた時には、声をかけてみてください。特にこどもは、長期休暇明け前後に、不安を感じたり、悩んだりすることがあります。こどもたちと関わる大人の皆様は、こどもの態度に現れる小さなサインに注意してみてください。

心のSOSをどうか知らせてください。皆さんが不安や悩みを一人ひとりで背負わなくていいような環境を一緒に作っていきます。



令和7年8月29日

厚生労働大臣 福岡 資麿

文部科学大臣 松野 博子

こども政策担当大臣

孤独・孤立対策担当大臣

三宅 じゅん子

厚生労働省ウェブサイト「まもろうよこころ」

➤ 電話や SNS の相談窓口等を分かりやすく紹介

<https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>



わか せだい
若い世代のみなさんへ

なつやす あ しん がっき はじ ふあん かん ねむ
夏休みが明け、新学期が始まりますね。不安を感じて、眠りづら
くなったりしていませんか。学校のこと、将来のこと、友人や家族の
こと、^{なや}悩んだりしていませんか。

なや ふあん ことば だれ はな き も
悩みや不安を言葉にしたり、誰かに話したりすることで、気持ちが
らくになることもあります。家族や友人など身近な人に話しづらい時
には、SNSや電話で相談できます。自分の名前を言わなくても
^{えすえぬえす でんわ そうだん} SNSや電話で相談できます。自分の名前を言わなくても
^{だいじょうぶ} 大丈夫ですし、うまく言葉にならなくても大丈夫です。一人で抱え込
まないで、あなたの気持ちや悩みをありのまま伝えてください。

もし、あなたのまわりでいつもと様子が違うと感じる人がいたら、声
をかけて、信頼できる大人に伝えてください。その一歩が、悩んでい
る人にとっては、大きな支えとなります。

こころ えすおーえす し
心のSOSをどうか知らせてください。



れいわ ねん がつ にち
令和7年8月29日

こうせいろうどうだいじん ふくおか たかまる
厚生労働大臣 福岡 資麿

もんぶかがくだいじん せしこ
文部科学大臣 阿部 俊子

せいさくたんどうだいじん みはら こ
こども政策担当大臣 三原 じゅん子
こどく こりつ たいさくたんどうだいじん
孤独・孤立対策担当大臣

厚生労働省ウェブサイト「まもろうよこころ」

➤ 電話やSNSの相談窓口等を分かりやすく紹介

<https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>



自殺対策事業実績

1 相談事業

(1) 市川市こころの健康相談（委託事業） ※ R2年9月から事業開始 （相談件数）

	電話相談	面接相談	WEBメール 相談	年合計	(性別内訳) 上段：男性 中段：女性 下段：不明	月平均
R3年度合計	1,634	3	4	1,641	751 869 21	136
R4年度合計	2,485	19	5	2,509	1046 1422 41	209
R5年度合計	3,586	38	58	3,682	1420 2241 21	306
R6年度合計	4,423	36	101	4,560	1609 2605 346	380
R7年度合計 (4月～9月)	2,460	41	66	2,567	910 1344 313	427

2.79倍

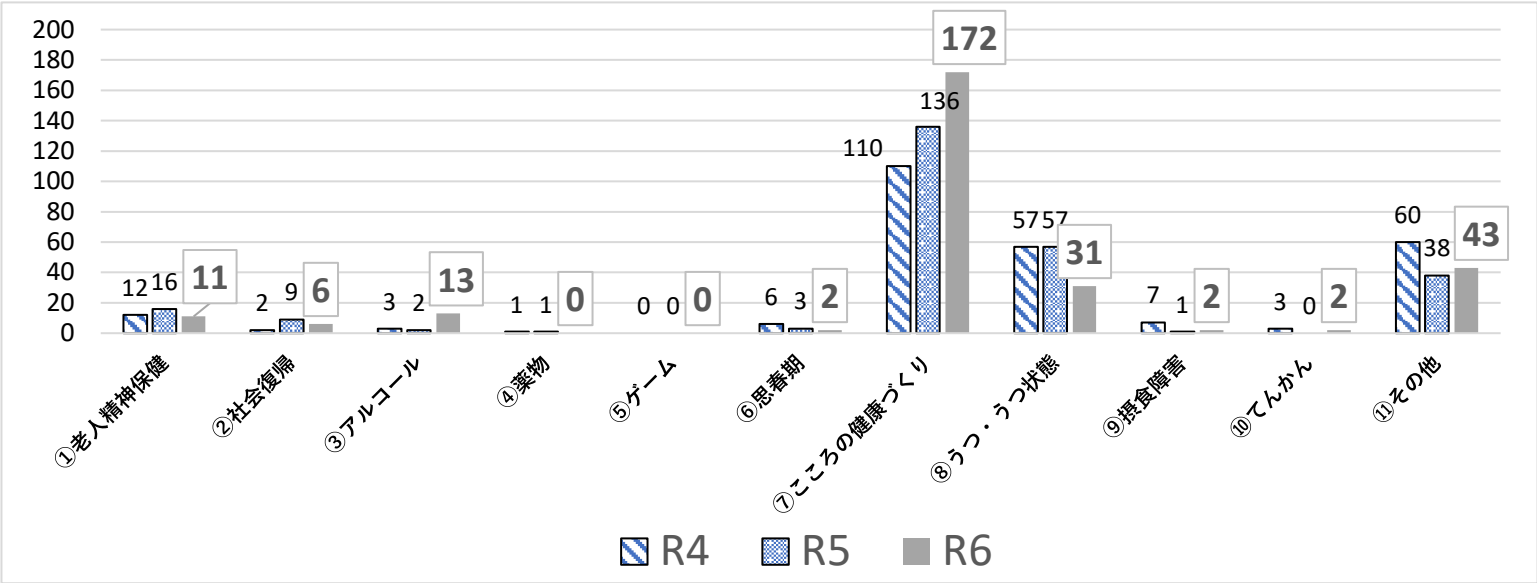
(2) - 1 精神保健関連の相談（保健センター健康支援課） (相談件数)

	R元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度(4 月～ 9 月)	(参考) R7全相談件数
電話	377	443	355	492	314	266	152	250
面接	48	33	16	31	51	13	8	19
訪問	171	120	30	47	46	3	2	5
計 (延)	596	596	401	570	411	282	162 男性：45 女性：115 不明：2	274

※R6年度から、母子保健で関わる精神相談は含まない

(2) - 2 精神保健関連の電話相談内訳（保健センター健康支援課）

※重複あり。 (相談件数)



2 普及啓発事業

(1) ゲートキーパー研修

地域や職場、教育機関等において自殺のサインに気づき、見守りを行い、専門相談機関による相談へつなぐ役割が期待される人に対し、研修を実施。

【令和6年度】 庁内職員対象 3回

市民対象 1回

(2) 快適睡眠講座

加齢に伴う睡眠リズムの変化を理解し、その対応方法について知ってもらう。

(3) リーフレットやカード等の配布による普及啓発

庁内各窓口、市内公立小中学校、各関係機関等へ配布。

第一庁舎、行徳支所、保健センターへカードを設置。



(4) こころの体温計

スマートフォン、携帯電話、パソコンから24時間いつでも気軽にできるメンタルチェックシステム。簡単な質問に回答するだけで、こころの健康状態をチェックすることができる。

(5) SNSによる周知

9月の自殺予防週間、3月の自殺対策強化月間、ゴールデンウィーク前、長期休暇中(8月、12月)に、こころの健康相談等の案内を配信。

(6) 懸垂幕や電光掲示板による周知

9月の自殺予防週間と3月の自殺対策強化月間に、第1庁舎及び第2庁舎、行徳支所に掲示。



こころの健康と自殺対策に関するアンケート（案）

市川市では、悩みを抱えた方が生きるための環境を整えるため自殺対策事業に取り組んでいます。この調査は自殺対策事業を推進するため、市民の皆さまの心の健康に関する現状や事業の認知度、ご意向を今後の「いのち支えるいちかわ自殺対策計画」などの参考にさせていただきたいものです。アンケートへのご協力をお願いいたします。

（「いのち支えるいちかわ自殺対策計画(第3次)」については[こちら](#)をご覧ください。（リンクさせる））

※は必須回答

問1 あなたの年代を教えてください。※

☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代 ☐70代 ☐80代以上

問2 あなたの性別を教えてください。※

☐男性 ☐女性 ☐その他 ☐回答しない

問3 あなたは、睡眠で休養が十分にとれていますか。※

☐とれている ☐とれていない

問4 悩みごとや困ったことなどがあつたとき、誰かに相談していますか。※

☐相談している(→問5へ) ☐相談していない(→問6へ)

問5 【問4で「相談している」と答えた方に伺います】

どなたに相談しますか。(複数回答可)

☐家族 ☐親戚 ☐友人 ☐近所の人 ☐職場の同僚・上司・部下 ☐病院
☐行政などの相談窓口 ☐学校の先生・スクールカウンセラー ☐民間の相談窓口・相談員
☐その他()

問6 【問4で「相談している」と答えた方に伺います】

どのように相談しますか。(複数回答可)

☐会って話す ☐電話で話す ☐インターネット、メールなど
☐その他()

問7 【問4で「相談していない」と答えた方に伺います】

それはなぜですか。(複数回答可)

☐ プライバシーが守られるか不安	☐ 話したくない内容を聞かれるのではないかな
☐ 上手く話せないのではないかな	☐ 逆に責められるのではないかな
☐ 面倒くさい・おっくうだ	☐ 恥ずかしい
☐ 自分で解決できると思う	☐ 相談する人がいない
☐ その他()	

問8 今まで死にたいと思いつめるほど悩んだことがありますか。※

☐ある ☐ない（問12へ）

問9 【問8で「ある」と答えた方に伺います】その原因について教えてください（複数回答可）

☐職場・家庭などにおける人間関係 ☐精神・身体的な病気 ☐いじめ・不登校・成績不振
☐失業・経済苦・借金 ☐過重労働 ☐子育て ☐介護 ☐わからない ☐答えたくない
☐その他（ ）

問10 【問8で「ある」と答えた方に伺います】相談した相手を教えてください（複数回答可）

☐家族 ☐友人 ☐職場の同僚・上司・部下 ☐病院 ☐行政の相談窓口
☐学校の先生・スクールカウンセラー ☐民間の相談窓口・相談員 ☐誰にも相談できなかった

問11 【問10で「誰にも相談できなかった」と答えた方に伺います】

理由を教えてください（50字以内）

（ ）

問12 うつ病について、以下のことを知っていますか。（問12～14にお答えください）※

誰もがかかる可能性のある病気である

☐知っている ☐知らない

問13 うつ病は、生活苦や失業、人間関係、病気など、様々なストレスと関係がある。※

☐知っている ☐知らない

問14 薬の治療とともに、ゆっくり休養することが必要である。※

☐知っている ☐知らない

問15 ゲートキーパーを知っていますか。※

☐知っている ☐聞いたことがあるが具体的なことは知らない ☐知らない

問16 若者の死因の1位が自殺であることを知っていますか。※

☐知っている ☐知らない

問17 自殺は社会的な取り組みで防ぐことができることを知っていますか。※

☐知っている ☐知らない

問18 市川市が自殺対策に取り組んでいることを知っていますか。※

☐知っている ☐知らない

問19 「自殺予防週間（9月10日～16日）」や、「自殺予防月間（3月）」を知っていますか。※

☐どちらも知っている ☐聞いたことはあるが具体的なことは知らない ☐どちらも知らない

問20 これからの自殺対策として大切なものはどのようなことだと思いますか。(複数回答可)※

- | | |
|--|--|
| ☐ 相談窓口のわかりやすさ | ☐ 総合的な電話相談の設置 |
| ☐ 24 時間対応の相談窓口の設置 | ☐ うつの特設相談窓口の設置 |
| ☐ 中高年男性のための健康相談の周知 | ☐ 女性のための健康相談の周知 |
| ☐ 多重債務相談の周知 | ☐ 自死遺族（家族を自殺でなくされた方）相談の周知 |
| ☐ 失業対策・雇用の確保 | ☐ かかりつけ医の目配り |
| ☐ 自殺予防に関する講演会の実施 | ☐ 広報での呼びかけ |
| ☐ 啓発ポスターの掲示 | ☐ 若い年齢層への「いのちの教育」 |
| ☐ ストレス対処法の学習会 | ☐ 適正な飲酒についての啓発 |
| ☐ 保健師や民生委員などによる戸別訪問 | ☐ 高齢者対象の生きがい事業の促進 |
| ☐ その他（50 字以内） | |

（ ）

問21 その他、ご意見等がありましたらご記入ください。

（ ）